

## このような **お困りごと** ありませんか？

加齢や障がいに伴って、身体機能も低下し、心のバランスも崩れやすくなり、様々な要因から低栄養のリスクが高まってしまいます・・・

CASE 01



食事をすると  
ムせてしまう

CASE 02



食欲がなく  
食事量が減っている

CASE 03



一人暮らしで  
調理や食材の調達が難しい



## 在宅栄養チームではこんなことやっていきます



CASE 01

ムせてしまう場合には・・・



「食べにくい」「飲み込みにくい」など食事形態のミスマッチは栄養状態が悪くなりやすいです。

おひとりおひとりに合ったお食事の作り方、調理方法をご提案します。

CASE 02

食事量のお悩みには・・・



血液データや体重など、医学的根拠に基づいた評価を行います。お食事だけでは難しい場合、補助的に摂取できる商品のご紹介もいたします。食品の選び方、利用方法をご提案いたします。

CASE 03

他業種との連携も



一人暮らしの食事のさまざまな問題を解決いたします。配食のすすめ・デイサービスの利用や地域の高齢者サロンなどケアマネージャーと連携しご提案いたします。



栄養食事指導は、医療保険または介護保険の利用となります

NEW!

## 在宅栄養チームが始動いたします



嚥下にお困りの方、食事量が低下している方、褥瘡がなかなか治らない方、低栄養のリスクが高い方お食事に関するさまざまなお悩みに寄り添います。

【お申し込み・お問い合わせ】

診察時、医師・看護師にお尋ね

または

052-803-5005

までお問い合わせください

